



2018 年 5 月 24 日

## **ARTA BMW M6 GT3 は、 ポイント獲得を目指して健闘するも 20 位フィニッシュ 2018 AUTOBACS SUPER GT Rd.3 SUZUKA**

2018 年 SUPER GT 選手権に BMW M6 GT3 で参戦するオートバックス・レーシング・チーム・アグリ(ARTA)は、5 月 20 日に開催された同選手権第 3 戦の決勝において、厳しい BOP の中、ポイント獲得を目指して健闘するも 20 位でレースを終えた。

相性の良い富士では今季初優勝を飾った ARTA BMW M6 GT3 だが、ハンディウエイトが 52kg になった事に加え、チームにとってここ鈴鹿は BOP(性能調整)が不利な条件となる。例年、鈴鹿では苦戦していて、GT 最多勝の記録を持つ高木真一選手を持ってしても簡単には予選上位に進出するのが難しい。しかし、チームは 1 点でも多くポイントを獲得すべく、この鈴鹿に乗り込んだ。

午前のセッションはコースコンディションに合わせ、タイヤのチョイスとパフォーマンス向上のためのセットアップを進める。マシンのバランスは良好に思えるが、Q1 を突破するにはもう少しタイムアップが必要となる。

### **公式予選**

予選開始後、高木選手は Q1 突破を懸けてアタックに入った。レース後、自ら「寿命が 5 年縮んだ」とコメントしたように、高速コーナーをコースアウト覚悟のスピードで駆け抜ける。午前中のフリー走行から大幅なタイムアップに成功するが、20 番手で悔しくも Q1 突破はならなかった。しかし、決勝のセットアップでの走行は悪くなかったため、明日のポイント獲得に期待がかかる。

### **決勝**

決勝は計時システムのトラブルにより 40 分ディレイになったが、ドライバーはこの間に集中力を高め、レースのスタートを待った。

スタートドライバーはショーン・ウォーキンショー選手が担当した。ショーン選手は慎重にスタートし、2 周目までにひとつポジションを上げる事に成功した。ペース良く周回を重ね、11 周目には 18 番手までポジションを上げる。しかし、500 クラスの車両のコースアウトにより、12 周目にセーフティーカーが入りレースは中断となる。また、同じタイミングで 300 クラスの車両もコースアウトしたことから、順位をひとつ上げることになる。

レース再開直後、他車は続々とルーティンのピットインを行う。ショーン選手は 11 番手まで順位を上げ、他車とタイミングをずらして 19 周目にルーティンのピットインを行い、高木選手にレース後半を託した。

高木選手は 23 番手でコースに復帰するが、トラフィックの中で、1 周毎に順位を入れ替えながらもペースを上げられずにいた。終盤、燃料が軽くなってからマシンの操縦性が上がり、

高木選手は予選のポジションまで順位を回復したものの、ここからさらに順位を上げる事は難しく、20 位でレースを終えた。チームは、M6 と相性が良いブリーラムのレースで再び優勝を目指す。

#### **土屋圭市 アドバイザー**

「BOP 的に難しいレースでしたが、チームやドライバーはミスを犯すことなく素晴らしいレースをしてくれました。次のタイと富士での巻き返しにご期待ください。」

#### **安藤博之 エンジニア**

「決勝は予選のセットより改善して行っただのですが、なかなかペースを上げる事が出来ませんでした。M6 は 16 年、17 年と苦戦していますので、鈴鹿は車に合っていないのかなと思ってしまいます。しかし、続くタイと富士は相性が良く結果も出ているので、次に向けて準備したいです。」

#### **高木真一選手**

「タイヤ無交換も考えたのですが、フロントだけ交換する作戦にしました。ちょっとギャンブルではありましたが、バランスが取れなくてコントロールに苦労しました。何とか 1 ポイントでも獲ろうとして無理したのが裏目に出てしまいました。他車と比べて現状どこが劣っているかわかったので、次につなげていきたいです。」

#### **ショーン・ウォーキンショー選手**

「とてもタフなレースでした。我々はいつものように精一杯戦っていたが、BOP 的に厳しかったと言わざるを得ないレースだったと思います。しかし、次のタイは相性が良いので、巻き返しを図れるよう頑張りたいです。」

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、  
BMW カスタマー・インタラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437 を  
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00 / 土日祝 9:00-18:00  
BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:  
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8025 (企業広報)